

平成 30 年 10 月 5 日

平成 30 年度 校内進路指導研修会報告

- 1 目的 高校教育改革，特に高大接続について理解を深め，進路指導の充実を図る。
- 2 日時 平成 30 年 9 月 25 日（火） 午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分
- 3 対象 本校教職員
- 4 会場 仙台第二高等学校 視聴覚室
- 5 講師 大谷大学文学部文学科 教授 荒瀬克己 氏
京都市立堀川高校校長，京都市教育委員会教育企画監等を経て現職
中央教育審議会初等中等教育分科会，教育課程部会，キャリア教育・職業教育特別部会，高等学校教育部会，高大接続特別部会，教育課程企画特別部会，高大接続システム改革会議等の委員を歴任。
2007（平成 19）年 10 月，NHK 番組「プロフェッショナル仕事の流儀」で「『背伸びが人を育てる』校長・荒瀬克己」として放送された。著書に『奇跡と呼ばれた学校』（朝日新書 2007 年 1 月），『子どもが自立する学校』（共著，青灯社 2011 年 1 月）がある。
- 6 内容
 - 1 大学入試改革と高大接続改革について
 - ・大学入学共通テスト試行調査結果
 - ・高大接続システム改革会議「最終報告」
 - ・2016 中教審答申（各学校が育成を目指す資質・能力の具体化）
 - 2 探究型学習・アクティブラーニングの捉え方について
 - ・日本人の幸福感～自己決定の重要性
 - ・「チョーク・アンド・トーク」の大切さ
 - ・「主体的・対話的で深い学び」とは
 - 3 市立堀川高校の取り組みについて
 - ・探究科の取り組み
 - ・「堀川の奇跡」とは
- 7 感想評価
 - ・先生の経験の中で培ってきた教育観に共感するところも多く，また，新たなとらえ方もお聞きすることができ，今後の教育活動に生かせる部分がたくさんありました。また，話術の素晴らしさにも感動しました。
 - ・「コンテンツ（中身，内容）・コンピテンシー（能力，適性）」のバランスについて，今後の授業で意識していきたいと思いました。
 - ・「自分で選択し決定すること」が重要だと思いました。目の前のことや目先の結果に目が行きがちですが，最終的な生徒の幸福を考え，誠実に対応していきたいと感じました。
 - ・大変情熱的な講演でした。生徒に力をつけさせるためにどんな授業づくりをするか，日頃から考えています。ペアワークの在り方や，外部試験での扱い方について今日の講演を参考に，さらに勉強したいと思います。
 - ・学校全体として学びの場をどう作るか（全体としてのハーモニーがどうなっているのか）考えたいと思います。知的好奇心を高める授業の楽しさ，面白さを伝える授業はどうあるべきか，大変参考になりました。また，授業実践について大きな勇気をいただきました。
 - ・荒瀬先生の教育に対する情熱が伝わってきました。「先生が輝かなければ生徒に伝わらない」という言葉が印象に残っています。卒業までどのような力を生徒に身につけさせるべきか考えるべきだと思いました。